

当社は社会の一員として、工場周辺地域や社会と共生し、ともに繁栄していくことが大切であると認識して、日々生産を続けています。

2011年3月11日に発生した東日本大震災では、当社の関係者も多く被災されました。グループ会社であるIH1 相馬工場への支援、東北支店（仙台）を介して東北地方の従業員および代理店・顧客等関係者への支援物資送付、会社としての義援金送金や社内有志による義援金カンパの呼びかけなど、全社で協力して支援活動を行っています。

辰巳オフィスでは、ペットボトルのキャップを分別して集めています。
ペットボトルのキャップは400個で10円になります。ポリオワクチンは一人分20円です。キャップ800個で一人の子供の命が救えます。

CSメンテナンスグループのある有志の発案で始まったこの活動は、当社及び同じビルに入っている会社などが参加して H22 年度の収集量が 45,880 個となり、57 人分のワクチンが途上国に届きました（エコキャップ推進協会より）。単純に焼却してしまうと 361kg の CO₂ が発生することになるそうです。



従業員、家族参加のバーベキュー大会を開催

今年度は厳しい事業環境の中、経常利益の拡大を目指すとともに、大型 ZP、NOx2 次規制クリアの船用 DE、高性能な非常用 GT 等を市場にリリースし、将来に向けた多くの開発を軌道に乗せる節目の年になります。社員及びご家族の方々のご協力を得て、この重要な課題を着実に成し遂げるため『平成 22 年度、更なる飛躍の年に!』と題して、イベントが各事業所で開催されました。

ニコ精密機器を皮切りに、太田工場、新潟ガスタービン工場でバーベキュー大会が催され、お子さんからおじいちゃんおばあちゃんまで多くのご家族が参加され、大いに盛り上がりました。

ガスタービン工場では、マグロ解体ショーや利き酒大会などのほか、技術センター材料研究チーム主催による電子顕微鏡観察会なども行われ、お子さんたちも大変楽しんでいた様子でした。

